

成績評価の手引き（大学院）

1. 静岡大学大学院理工学研究科物質工学専攻化学システム工学コースでは、下記の(A)～(G)の学習・教育目標を設定しています。

A. 課題提案能力

実験および研究成果を総括し、学会および社会に広く発表し、課題を提案する能力を身につける。さらに、技術者のリーダーに求められる、問題提起、本質把握、課題設定およびコミュニケーションの能力を身につける。

B. 課題解決能力

本コース修了生は社会において化学工学的課題解決の任務を実施していることを鑑み、高度な専門技術と関連分野および異分野の知識などを総合的に活用して、化学工学的な課題を解決できる能力を身につける。

C. 関連分野の応用能力

化学およびその関連分野の原理を応用し、安全に配慮した素材、部材及び製造プロセスの開発・設計が出来る能力を身につけ、さらにそれらを応用できる能力を身につける。

D. 環境への配慮

地球環境に配慮し、エネルギー及び経済性を考慮した工学技術を活用する能力を身につける。

E. 高度な専門分野の能力

分離工学、反応工学、移動現象論、プロセス工学系特論を修得し、化学システム工学分野の深い知識と応用力を身につける。

F. 調査・検証能力

国際的な化学技術のレベルを理解し、先端的な技術と知的財産を活用できる能力を身につける。

G. 技術者倫理

技術者倫理を身につけ、高度な専門技術を社会貢献に活用する能力を身につける。

2. 科目毎に上記(A)～(G)の学習・教育目標の内のどの項目について教授するものなのかを鑑み、その項目に関する達成基準が設定されています。その内容は、シラバスに記述され、ホームページにも掲載されています。
3. 授業中に実施したレポート及び演習に関しては、模範解答が知らされます。
4. 授業中に実施したレポート・演習及びテストに関しては、主要な部分がコピーなどで保存されます。

評価の内容については、希望があれば教員から学生に伝えられます。講義内容で理解不足の点があれば、教員に積極的に質問して下さい。

以上